

渡島管内

北海道函館養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒042-0916 函館市旭岡町2番地
- 問 合 せ 先 TEL 0138-50-3311
FAX 0138-50-3312
E-mail hakodateyogo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakodateyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「子ども一人一人のもっているよさや個性を 発揮できるようにし
心豊かに たくましく 社会で共に生きる力を育てる」

□ 概 要

本校は、昭和54年に開校した肢体不自由のある児童及び生徒を教育する特別支援学校です。平成3年に高等部が開設され、平成10年からは高等部でも訪問教育を行っています。

現在1～3学年で計14名の生徒が在籍し、一人一人の障がいの状態や特性、教育的ニーズに応じた指導について、適切に取り組みられるよう単元計画を作成し、授業の実施と評価、改善に努めています。また、生徒のよさや個性を生かす教育を目指しており、自ら感じ考え表現できる力の育成を図っています。

函館市外に在住する児童生徒のために寄宿舎が設置されており、生活経験の伸長とともに、将来の自立に向けた生活動作や集団における力の育成を目指しています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

「一人一人のよさや個性を生かし、自ら感じ、考え、表現できる力を育てる」

【 合理的配慮に基づいた指導 】

個別の教育支援計画で示されている本人や保護者の願い、また、将来の職業生活を見据えた長期的な支援目標を基に、生徒と保護者と教師が互いの人権や尊厳に配慮した共感的な視点で日々の指導、実践に取り組んでいます。

各教科の指導では、教科のねらいや観点を明確にし、生徒一人一人の学びの履歴や連続性、学習状況をおさえた指導に努めています。また、各教科を合わせた指導では、生徒の生活に基づいたまとまりの中で、自然に学びの楽しさを感じ、学習意欲の高まりや分かる授業、合理的配慮に基づいた指導の充実に努めています。

【 地域資源を活用した体験的な学習 】

人とかかわる力を実践的に身に付けることができるよう、地域資源（人材、施設、情報等）を活用した体験的な学習の推進に取り組んでいます。公共交通機関の活用や買い物などの校外学習、地域の高等学校の生徒との交流及び共同学習、各種福祉事業所の見学や産業現場等における実習のほか、地域ボランティアの活用やALTを招いた学習を行っています。

【 医療的ケアを必要とする生徒の状況 】

現在、5名の生徒について、医師、保護者、看護師と連携を図りながら医療的ケアを行っています。



作業学習：陶芸



生活単元学習：和紙を使った作品



保健体育：水泳



音楽：器楽



自立活動



出前授業：メグミルク

■第1学年生徒の週時程表

【 I 型 】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|--------------|-----------------|------------|------------|----|
| 1 | 日常生活の指導 | | | | |
| 2 | 作業 学習 | 生活単 元学習 | 自立 活動 | 生活単 元学習 | 音楽 |
| 3 | | | | | |
| 4 | 自立活動/日常生活の指導 | | | | |
| 5 | 生活単 元学習 | 自立 活動 クラブ | 生活単 元学習 | 保健 体育 | HR |
| 6 | | | | | |

【 II 型 】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---------------|-----------------|------------|------------|----|
| 1 | 日常生活の指導/国語・数学 | | | | |
| 2 | 作業 学習 | 生活単 元学習 | 作業 学習 | 生活単 元学習 | 音楽 |
| 3 | | | | | |
| 4 | 自立活動/日常生活の指導 | | | | |
| 5 | 生活単 元学習 | 自立 活動 クラブ | 生活単 元学習 | 保健 体育 | HR |
| 6 | | | | | |

※「総合的な探究の時間」は、任意の期間で実施する。

* 登校時間 9：10（月～金）

* 下校時間 15：10（月・火・木） / 14：25（水・金）

■教育課程の特徴

国語、数学、音楽、保健体育の教科別指導と日常生活の指導、生活単元学習、作業学習といった各教科等を合わせた指導、自立活動等を学習の基として時間割を編成しています。また、「なぜ、その学習に取り組むのか」「その学習から何を学ぶのか」「その学びを、将来どのように生かせるのか」を考え、単元計画を立案し、授業の実施と評価、改善に努め、学びの履歴を積み上げる取組に努めています。

□ 自立活動の指導

自立活動の時間における指導を設定し、自立活動教諭や医療機関、訓練機関と連携を図りながら、生徒の障がいの状況に応じた学習活動の充実に努めています。

□ 総合的な探究の時間

産業現場等における実習の取組として、2～3学年で体験実習を行っています。実習先に応じて違いはありますが、2～10日間程度の実習を実施しています。

近隣地域の高等学校と、交流及び共同学習を行っています。障がいの有無に関わらず、同年代の仲間と関わることができる貴重な体験の機会となっています。

□ 特別活動

全校的な行事として、授業で学んだ運動競技や演舞（ダンス）等を発表する体育大会やあさひ祭（高等部祭）を行っています。あさひ祭では、各学習グループで企画した催事やステージ発表をします。また、作業学習で制作した商品の販売も行っています。

週1回のHR（ホームルーム活動）と月1回程度で全校集会を行っています。

学校Webページ



■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□福祉事業所の利用
生活介護：1名